

# 平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

## I 概要

えひめ産業振興財団では、本県経済の発展に資するよう、新事業の創出及び高度な技術の研究開発等を支援するとともに、中小企業の経営基盤の強化、IT導入による情報化促進等に積極的に取り組んでいるところである。

平成25年度においては、新たな事業活動を支援する体制の中核的機関として、ビジネスサポートオフィスを中心に、起業家精神に富んだ創業者や新事業分野へ進出する企業に対して、新事業の研究から、商品開発や販路開拓、事業化のための金融機関からの融資等に至るまで、各段階に応じたきめ細かな支援施策を実施するとともに、他の産業支援機関等との緊密な連携・補完体制のもと、「チームえびす」を構成し、一体的かつ重層的な支援機能の高度化を図り、さらには、平成25年7月25日付けで、中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業における「地域プラットフォーム」の登録を受けるなど、中小企業者等の経営課題解決、経営支援強化を積極的に行った。

また、総額100億円に拡充組成した「えひめ中小企業応援ファンド」により、地域資源の活用や地域のニーズに対応したビジネスの創出支援に努めるとともに、本県産業の高付加価値化、高度化を図るため、中小企業の技術開発、新事業の展開等を支援するなど、次代を担う新産業の育成に取り組んだほか、農林漁業者と中小企業者の連携強化による地域経済の活性化を図るため、25億円の「えひめ農商工連携ファンド」を活用した助成事業等を実施した。

一方、産学官連携促進についても、国の競争的資金を獲得して、大学・公設試等の関係機関と共同研究体を組織し、新製品開発・事業化に向けた技術シーズの実用化研究を行う戦略的基盤技術高度化支援事業、並びに昨年度からスタートした「持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築」を推進する地域イノベーション戦略支援事業等にも取り組んだ。

下請企業振興事業では、幅広い受発注情報の収集提供や広域商談会を開催する等、県内下請中小企業に対し、受注の安定的な確保と、新規取引先の獲得、自立化の促進を図った。

企業の情報化支援では、中小企業支援センター情報ネットワークの管理運営を通じ各種産業情報等の提供を行うとともに、IT人材育成研修やIT利活用支援セミナーの開催、eラーニングサービスの提供などにより、中小企業のIT利活用を促進した。

また、テクノプラザ愛媛(旧愛媛県産業情報センターを含む。)の管理運営主体として施設・設備の適正管理及びその利用の促進を図ったところであるが、引き続き平成26年度から30年度末まで当財団が指定管理者となった。なお、財団が定款第4条に基づき平成25年度に実施した事業の概要は、次頁以降のとおりである。

## II 事業報告

### 1 (公1) 公益目的事業

#### < A : 新規事業創出支援事業 >

##### 1. 1 新事業総合支援事業 (県補助事業)

【予算額：44,062千円】【決算額：44,043千円】

創業や経営革新による新事業の創出を促進するため、創業・経営基盤強化支援体制を構築し、総合的な支援を行った。

##### (1) 支援体制整備事業

###### ① 相談窓口 (ビジネスサポートオフィス) における支援

新商品開発や新事業創出に取り組む個人や企業からの相談に対応するため、「ビジネスサポートオフィス」(BSO)に、プロジェクトマネージャー1名、サブマネージャー1名、研究員2名等を配置し、2,612件の相談に対応した。

[相談件数]

相談内容	計	(参考)	
経営全般	497	平成24年度	2,292件
マーケティング	605	平成23年度	1,509件
資金	225	平成22年度	1,939件
法律	19	平成21年度	2,402件
技術	125	平成20年度	2,224件
ビジネスプラン	466	平成19年度	1,726件
IT	120	平成18年度	1,815件
会社設立	35	平成17年度	1,693件
事業連携	224		
特許	22		
その他	274		
計	2,612		

###### ② 県内支援機関ネットワークの形成

えひめビジネスサポートネットワーク (チームえびす) では、当財団をはじめ県内の中小企業支援機関、金融機関などの18の支援拠点と、大学、公設試等のパートナー機関が連携して県内企業者等の経営課題に向けた各種支援を実施しており、各機関の連携促進を図るため、支援機関連絡会議等を開催した。

【チームえびす支援拠点】

産業支援機関	(公財)えひめ産業振興財団、(公財)えひめ東予産業創造センター (株)西条産業情報支援センター、(一財)今治地域地場産業振興センター
商工関係団体	愛媛県中小企業団体中央会、愛媛県商工会連合会、商工会議所 (9)
金融機関	(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、愛媛信用金庫

○支援機関連絡会議 開催実績 2回

第1回 平成25年5月29日(水) 13:00~16:30

第2回 平成26年3月25日(火) 13:00~13:50

○チームえびす支援成果事例セミナー

日時 平成26年3月25日(火) 14:00~17:00

場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内容 講演「イチから分かる創業支援」

高島 利尚氏 (TMI 主宰、中小企業診断士)

事例発表1 「愛媛県産ニンニクを使った加工食品の開発、販路開拓支援」

株式会社福の山印 代表取締役 安倍 和也氏

事例発表2 「訪問看護・介護サービスでの創業支援」

株式会社おひさま 代表取締役 近藤 豊氏

フリートーク (講師、事例発表者等)

(2) 専門家派遣事業

① 専門家派遣支援

中小企業者から持ち込まれた経営上の問題や、課題の解決を図るため、財団に登録されている専門家(ビジネスアドバイザー)を派遣した。

派遣延べ件数 226件 対象企業(個人) 39先

② 支援成果の普及

県内各拠点の協力の下、各拠点から寄せられた優良事例による事例集を作成し、チームえびす各支援拠点等へ配布した。

作成部数 5,000部

(3) チャレンジプラン(新商品研究開発支援事業)

新商品開発や新事業創出に取り組むグループに対し、研究開発に要する経費を支援するもので、平成25年度は、2グループを支援した。

支援対象分野	支援対象グループ	成果等
農水業・食品加工	【25年度新規 1グループ】 産学共同特産品開発プロジェクト「鬼の食いもん開発チーム」	試作品製造
その他	【25年度新規 1グループ】 毎日の習慣を清潔に!ぬめり撲滅プロジェクト	試作品製造
合計 2 グループ (25年度新規 2)		

(4) 首都圏でのテストマーケティング実施に対する支援事業

首都圏等で開催される展示会等への新商品の出展を支援した。

展示会名等	主催	時期	場所	出展者
せとうち旬彩館	愛媛県、香川県	H26. 1. 27~2. 2	東京都港区新橋	2社

(5) 起業家育成施設支援強化事業

① 創業準備室の提供（スタートアップ支援オフィス）

会社を設立しようとする個人に創業準備室を提供し支援した。平成 25 年度中の新規利用者は、延べ 13 人である。また、2 人が入居中に法人を設立した。

（14 室、 5,000 円/月）

② インキュベーションマネージャー（IM）養成研修

創業準備室、インキュベート・ルーム入居者の育成支援を行う IM 養成研修に 2 名派遣し、インキュベーションマネージャーの認定を受けた。

③ インキュベーション施設支援強化

創業準備室及びインキュベート・ルーム入居者を対象に、IM 等専門家によるサポート、商品化プランニング支援等を行うとともに、入居者同士のビジネス創出交流会を開催した。

また、創業・起業家等を発掘しビジネスプランのブラッシュアップや課題解決等の支援を行うとともに、創業準備室、インキュベート・ルームへの入居や財団の事業等の利活用促進を図るため、「えひめビジネスインキュベートスクール」を開設した。

ア えひめビジネスインキュベートスクール特別講座 全 1 回 受講者 20 名

講師 向井 重樹氏（向井経営事務所 所長）、ゲストスピーカー

開催日時	開催場所	内 容
平成 25 年 5 月 25 日（土） 9：00～17：00	テクノプラザ愛媛	「創業に向けて」

イ えひめビジネスインキュベートスクール

アイデア整理編 全 3 回 受講者 21 名

プラン具体化編 全 4 回 受講者 28 名

事業成長編 全 5 回 受講者 18 名

（事業成長編の最終回に受講者のプレゼン、交流会を開催）

講師 飯尾 渉氏（WAKTAL デザイン 代表）

毎回、企業経営者等のゲストスピーカーを招いて、成功事例等の発表を行った。

【アイデア整理編】

開催日 ※時間は各回とも 18：30～20：30	開催場所	内 容
平成 25 年 6 月 20 日（木）	テクノプラザ愛媛	「起業という文字が浮かんだら」
平成 25 年 6 月 27 日（木）		「自分の知らない自分を知る」
平成 25 年 7 月 4 日（木）		「上りのエスカレーターに乗る」

【プラン具体化編】

開催日 ※時間は各回とも 18：30～20：30	開催場所	内容
平成 25 年 9 月 5 日 (木)	テクノプラザ愛媛	「お金を味方につける」
平成 25 年 9 月 12 日 (木)		「環境を味方につける」
平成 25 年 9 月 19 日 (木)		「事業を組み立てる」
平成 25 年 9 月 26 日 (木)		「事業を組み立てる」

【事業成長編】

開催日 ※時間は各回とも 18：30～20：30	開催場所	内容
平成 25 年 11 月 21 日 (木)	テクノプラザ愛媛	「目標の実現のために」
平成 25 年 11 月 28 日 (木)		「失敗を恐れないために」
平成 25 年 12 月 5 日 (木)		「まわりを巻き込むチカラ」
平成 25 年 12 月 12 日 (木)		「10 年続けるノウハウ」
平成 26 年 1 月 30 日 (木)		成果発表会&交流会

1. 2 えひめ先進環境ビジネス創出推進事業

低炭素社会の実現に向け、環境と経営の両立は企業において急務となっており、環境ビジネスの分野は、今後大きな成長が見込まれている。このため、愛媛県と当財団が21年に設立した「えひめ先進環境ビジネス研究会」において、県内で創出されるオフセットクレジットの利用促進をはじめ、県内事業者等による先進環境ビジネスの支援に取り組んできたところである。

本年度は、当財団（事務局）への愛媛県からの本業務委託がなく、主要業務は休止したが、研究会のホームページの運営管理を含めた情報提供等を継続して実施した。

1. 3 グリーン・イノベーション関連ビジネス活性化促進事業

「えひめ先進環境ビジネス研究会」のホームページ等において、県内事業者等に対してグリーン・イノベーション（環境エネルギー分野革新）に関する情報提供を行い、環境エネルギー関連ビジネスの支援に取り組んできたところである。

本年度は、当財団（事務局）への愛媛県からの本業務委託がなく、主要業務は休止としているが、情報提供活動等を継続して行った。

1. 4 中小企業外国出願支援事業（国補助事業）

【予算額：21,000千円】【決算額：2,994千円】

愛媛県内の中小企業が保有する知財（特許、実用新案、意匠、商標）の海外展開を支援するため、平成25年度から海外特許庁への出願作業に必要な経費を補助した。今年度の実施

案件は以下の4件である。

※ 補助率：2分の1以内

※ 補助金上限額：特許150万円、実用新案・意匠・商標60万円、冒認対策商標30万円

申請者	知財区分	出願国
(有)愛トリノ	特許	米国、カナダ
(株)エクセル電子	特許	欧州、米国、韓国、中国（香港含む）
ニンジニアネットワーク(株)	冒認対策商標	香港
第一印刷(株)	商標	香港、台湾、シンガポール、韓国、中国

#### 1. 5 地域中小企業応援ファンド事業（地域中小企業応援ファンド事業基金事業）

地域資源を活用したビジネスの創出に取り組む個人やグループ活動等の企業化を支援するほか、県内の既存産業の高付加価値化、高度化を図るとともに、販路開拓、新事業展開等の取組などを支援することにより、ビジネスの裾野拡大、ひいては次代を担う新産業の育成や雇用の創出を推進するため、基金を19年度から順次造成し「えひめ中小企業応援ファンド」を創設するとともに、中小企業者等への助成事業及び地域密着型ビジネスコーディネーターの設置等による支援事業を行った。

<基金の造成状況>

拠出機関	1号ファンド	2号ファンド	3号ファンド	合計
	地域密着	活力創出	農商工連携	
愛媛県	2億円	3億円	1億1千5百万円	6億1千5百万円
株式会社伊予銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
株式会社愛媛銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
愛媛信用金庫	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
四国電力株式会社	1億5千万円	2億2千5百万円		3億7千5百万円
愛媛県信用農業協同組合連合会			3億円	3億円
愛媛県信用漁業協同組合連合会			1千万円	1千万円
独立行政法人中小企業基盤整備機構	32億円	48億円	20億円	100億円
合計	40億円	60億円	25億円	125億円

※10年間無利子貸付

#### (1) 地域密着型ビジネス創出助成事業

【予算額：76,950千円】【決算額：40,022千円】

##### ① スタートアップ応援型助成事業

##### ア 一般枠

法人を設立して地域に密着した事業に新たに取り組もうとする個人又はグループ等を対象とし、事業の立ち上げに必要な初期的経費の助成

【助成率：3分の2以内、限度額：3,000千円】

○平成25年度継続事業 10件（平成24年度採択分）

【予算額：20,024千円】【決算額：12,509千円】

○平成25年度採択事業 16件（公募3回、応募17件）

【予算額：23,049千円】【決算額：16,353千円】

回	申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
第1回	(株)味彩	城川地域で栽培された農産物の果肉・野菜のペースト、ピューレ加工食品開発事業	3,000	3,000
	廣瀬 光男	「真珠粉麺（パールうどん、パールパスタ）」製造・販売事業	3,000	3,000
	山本 實男	久万高原の家づくり推進事業	3,000	1,793 26年度事業
	(株)FIELD	SNSを活用した結婚式盛り上げサイト開設事業	3,000	2,400 26年度事業
	北本 幹雄	愛媛の健康・才能をプロデュース	3,000	26年度事業
第2回	(株)iland scape	次世代モデル都市ライフケア事業	3,000	26年度事業
	寺川 正一	“えひめの味めぐり”県産果実を使用したわらび餅の加工・販売	2,260	26年度事業
	(株)カネジウ水産	地域資源「カタクチイワシ」等を使用した商品開発・加工・販売	3,000	2,900 26年度事業
	(株)マックスエージェント	県産真鯛を使用したフィッシュ&ベジチップスの加工・販売	2,999	640 26年度事業
	芥川 学	地元で結婚しよう！「地元婚」の支援事業	2,000	620 26年度事業
	(合)どーや市場	シーフードマイスターが提案する海鮮バーベキュー等魚食普及事業	2,000	2,000 26年度事業
第3回	川崎 良重	みやくぼ しまのダイニング	1,310	26年度事業
	原田 貢	ウォーキング・ポータリング（自転車散歩）アシスト事業	3,000	26年度事業
	(株)楽農研究所	キウイフルーツ等の地元果物の新たな高付加価値商品の加工・販売	3,000	26年度事業
	(株)TO RISE UP	愛媛の介護業界の人材教育・コミュニティ発展事業	2,266	26年度事業
	小川 清徳	練り製品加工残渣を原料とした酵素分解エキス調味料を製造・販売事業	3,000	26年度事業
計 16 件			42,835	16,353

#### イ ビジネスデザイン枠

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：1,500千円】

○平成25年度継続事業 2件（平成24年度採択分）

【予算額：877千円】【決算額：877千円】

○平成25年度採択事業 該当なし（公募1回、応募0件）【予算額：2,000千円】

ウ メッセチャレンジ枠

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

○平成25年度採択事業 1件（応募1件）

【予算額：1,000千円】【決算額：263千円】

申請者	出展商品／出展先	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
エヌズエンタープライズ(株)	LED照明機器／中小企業総合展2013in Kansai	266	263
計1件		266	263

② 新規ビジネス展開助成事業

本県が有する優れた技術シーズを活用した新事業の展開や、新製品・新サービスによる新たな事業展開の取組への助成

【助成率：2分の1以内、限度額：3,000千円】

○平成25年度継続事業 1件（平成24年度採択分）

【予算額：5,000千円】【決算額：5,000千円】

○平成25年度採択事業 2件（応募3件）

【予算額：25,000千円】【決算額：5,020千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)ジョイ・アート	舞台芸術のデジタルアーカイブ化(重要記録の保存・活用)事業	3,000	2,020 26年度事業
(有)南四国ファーム	新たな冷凍みかんの商品開発・販売事業	3,000	3,000
計2件		6,000	5,020

(2) 地域密着型ビジネス創出支援事業

【予算額：21,939千円】【決算額：18,398千円】

① コーディネーターの設置

地域密着型ビジネス担当のコーディネーターを3名設置し、ビジネスシーズの発掘と事業化へ向けたコーディネートを行うとともに、発掘案件の事業計画・収支計画等ビジネスプランの作成支援などを行った。

相談件数 541件

申請支援件数 「地域密着型ビジネス創出助成事業」申請支援17件（うち採択16件）

創業（法人化）件数 3件

② ワークショップ開催事業

地域密着型ビジネスへの取り組みを啓発・促進するため、ビジネスシーズの発掘方法、事業計画の作成方法など、地域密着型ビジネスを立ち上げるにあたって必要となる知識習得を行う研修を合計6回行った。

○ 創業講座

西条市会場にて2回、松山市会場にて2回、宇和島市会場にて2回実施

③ フォローアップ支援事業

○ 「FOODEX JAPAN2014」愛媛県ブース

愛媛の食品の魅力を発信し県内中小企業者等の販路開拓を図るため、当財団と愛媛県及び関係機関が連携し、国内最大級の食をテーマとした展示会である「FOODEX JAPAN2014」に大規模共同出展型の「愛媛県ブース」[6小間(7企業)]を出展し支援に努めた。

開催日 平成26年3月4日(火)～7日(金)

開催場所 幕張メッセ

県ブースの来場者 食品・飲料のバイヤー5,419社(商社・卸、小売等)

(3) 活力創出助成事業

【予算額：168,395千円】【決算額：44,377千円】

成長が見込まれる分野における技術開発、商品開発、販路開拓等に取り組む中小企業者又は中小企業者のグループを対象として、助成事業の公募・採択を行った。

① えひめプロダクツ市場開拓助成事業

ア ビジネスデザイン助成事業

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、1,500千円】

○平成25年度継続事業 2件(平成24年度採択分)

【予算額：1,725千円】【決算額：1,725千円】

○平成25年度採択事業 1件(応募2件)

【予算額：4,500千円】 【決算額：1,500千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)マルヤス	装置の作業操作性と意匠性を高めた混合機の開発	1,500	1,500
計1件		1,500	1,500

イ メッセチャレンジ助成事業

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

○平成25年度採択事業 12件(応募13件)

【予算額：4,829千円】【決算額：4,829千円】

申請者	出展商品／出展先	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(有)オルネット	タオル製品／東京インターナショナル・ギフトショー秋	500	500
西染工(株)	タオル製品／東京インターナショナル・ギフトショー秋	365	330
森松水産冷凍(株)	水産加工品／ジャパンインターナショナルシーフードショー大阪	500	340
竹中金網(株)	金網製品／機械要素技術展	500	500
伯方塩業(株)	塩／①Japan food Trade fair in Singapore 2013 ②FOOD EXPO 2013	500	500
(株)ノアフアミリー	ファンシー雑貨／香港ギフト&プレミアムフェア	500	137
(株)セルフリースサイエンス	バイオ機器／PEGS	494	494
(株)サカワ	電子黒板／教育 IT ソリューション EXPO	500	500
(株)ニューズ	かんきつ類／FOOD TAIPEI 2013	500	500
朝日共販(株)	水産加工品／地方銀行フードセレクション	225	186
(株)ダイニチ	水産加工品／①日本産農水産物・食品輸出商談会 in タイ②Japan food Trade fair in Singapore 2013	342	342
(株)藤岡製作所	全自動包装機／日中ものづくり商談会@上海 2013	500	500
計 12 件		5,426	4,829

② がんばるものづくり企業助成事業

ア F S 調査助成事業

独創的で市場性が見込まれる技術シーズについての技術的データの取得・検証、独創的な新製品・新サービスによる事業展開に関する市場性・事業性向上に係る調査研究等の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：1,000千円】

○平成25年度継続事業

1件（平成24年度採択分）

【予算額：213千円】【決算額：213千円】

○平成25年度採択事業 2件（公募2回、応募4件）

【予算額：1,000千円】【決算額：669千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)地域法人無茶々園	地域資源（甘夏種子、アコヤ貝貝殻）を活用した商品開発（市場調査を含む）に係る可能性研究	969	669

森田 光晴	パレットジュエリーの品質調査及びマーケティング調査に係る可能性研究調査	687	26年度事業
計2件		1,656	669

イ スーパーベンチャー助成事業

独創的で著しく新規性のある創造的知識を活用したリスクの高い新技術の研究開発等の取組への助成

【助成率：5分の4以内、限度額：20,000千円/年（最大2年）】

○平成25年度採択事業 該当なし（公募2回、応募0件）【予算額：20,000千円】

ウ 研究開発助成事業

モノ作り分野においてけん引役となるような新技術・新製品の研究開発、県内の健康福祉研究成果を事業化するための新技術・新製品の研究開発や、IT分野の有望案件に係る新技術・新製品の研究開発の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：一般枠20,000千円、小規模枠3,000千円/年（最大2年）】

○平成25年度継続事業

一般枠1件、小規模枠1件（平成23年度採択分）

【予算額：13,913千円】【決算額：995千円】

一般枠4件、小規模枠1件（平成24年度採択分）

【予算額：20,081千円】【決算額：20,081千円】

○平成25年度採択事業

一般枠7件、小規模枠4件（応募：一般枠15件、小規模枠6件）

【予算額：91,258千円】【決算額：8,400千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
田中技研(株) (一般枠)	CFRPパイプ材成形用簡易自動機の開発	10,000	26年度事業
横崎製作所(株) (一般枠)	炭素繊維強化樹脂を使用したトレイ式コンパクト選別機の開発	7,686	26年度事業
共立電気計器(株) (一般枠)	スマートメーター対応非接触型配線モニターとその評価システムの試作開発	13,937	6,939 26年度事業
丸三産業(株) (一般枠)	銀による抗菌性を有する新規な創傷被覆保護材の開発	18,195	26年度事業
有まる阿水産 (小規模枠)	養殖マダイの低コスト親子鑑定技術の開発と耐病性家系の探索	3,000	1,461 26年度事業
渦潮電機(株) (一般枠)	船舶用大容量リチウムイオン電池(LiB)システムの製品化	18,000	26年度事業
ハイスピードコーポレーション(株) (一般枠)	地盤改良工事における新規工法及び地盤改良施工機械の研究開発	18,000	26年度事業
(株)テラマチ (一般枠)	低価格・コンパクト化された減速機の開発及び販売	16,355	26年度事業

株ヘルシープラネット (小規模枠)	健康づくりにつなげる運動と食事とを 組み合わせた姿勢改善システム開発・ 販売	2,398	26年度事業
株えむぼま (小規模枠)	高解像度映像による個別ロールプレイ ング研修システムの開発	2,000	26年度事業
有サンテクノ久我 (小規模枠)	遠赤外線と低温を利用した新規食品用 乾燥・濃縮装置の開発	2,000	26年度事業
計 1 1 件		111,571	8,400

エ 作業標準作成スキル導入助成事業

ものづくり企業が、動画手法等を用いて技術・技能伝承を図るための作業標準書(マニュアル)を作成するスキル習得による伝承すべき技術・技能の把握、その効果的な伝承のための取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：1,500千円】

○平成25年度採択事業 2件(公募1回、応募2件)

【予算額：3,000千円】【決算額：760千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
株藤田製作所	大型鋳物部品製造におけるフラン鋳造工 程に係る動画を用いた作業標準書作成	684	0
株丸山タオル	プリント製造のプリント工程に係る動画 を用いた作業標準書作成	927	760
計 2 件		1,611	760

③ 地域産業新需要開拓助成事業

地域のものづくり産業における新たな需要開拓のため、中小企業団体による中長期的な戦略の策定や、中長期的な戦略に基づいて業界として実施する、商品のブランド化に向けた試作品等の開発、新市場等の開拓、新営業方式等の構築等への取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：3,000千円】

○平成25年度継続事業 2件(平成24年度採択分)

【予算額：5,205千円】【決算額：5,205千円】

○平成25年度採択事業 0件(公募1回、応募0件)

【予算額：2,671千円】【決算額：0千円】

(4) 活力創出支援事業

【予算額：37,214千円】【決算額：30,744千円】

① 産業支援機関向け等助成事業

ア ものづくり企業マッチング支援事業

県内ものづくり中小企業群と県内外大手企業等とのマッチングによる、県内中小企業における新製品の開発等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、助成額：7,000千円】

【予算額：7,000千円】【決算額：7,000千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
公益財団法人 えひめ東予産業創造 センター	ジョイントコーディネーターの設置	7,000	7,000
	溶接技術高度化研究会、炭素繊維ものづくり研究会、次世代技術研究会・先進加工技術研究会、経営基盤強化のための経営者勉強会、小規模研究会の設置・運営		
	マッチング・交流促進の実施		

イ えひめプロダクツ市場開拓支援事業

(ア) えひめプロダクツ市場開拓支援事業（国内枠 食品）

販路開拓のノウハウを有する外部専門家等を活用した、県内外の販売見込み先開拓のための仕組み構築への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、助成額：5,000千円】

【予算額：5,000千円】 【決算額：3,982千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
愛媛県中小企業団体中央会	販路開拓のノウハウを有する外部専門家（販路開拓ナビゲーター）を活用した、首都圏の販売見込み先紹介・マッチング、販路開拓現地指導の実施により、市場開拓の支援を行った。	5,000	3,982

(イ) えひめプロダクツ市場開拓支援事業（国内枠 非食品）

販路開拓のノウハウを有する外部専門家等を活用した、県内外の販売見込み先開拓のための仕組み構築への支援を行った。

【予算額：11,832千円】 【決算額：11,487千円】

委託先	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
株式会社アール・ピー・アイ	販路開拓のノウハウを有する外部専門家を活用した、商品のブラッシュアップやギフトショーへの出展、首都圏のバイヤーとのマッチングにより、市場開拓の支援を行った。	11,487	11,487

(ウ) えひめプロダクツ市場開拓支援事業（海外チャレンジ枠）

海外とのビジネス交流を意図する県内中小企業について、現地関心企業等の発掘や商談アレンジ等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：4,500千円】

【予算額：4,500千円】【決算額：2,580千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
公益財団法人 愛媛県産業貿易 振興協会	台湾、ベトナムへの販路開拓支援（市場調査等関連情報の収集・提供、バイヤーとの商談）	2,840	2,579

ウ ハンズオン助成事業

知事が承認した産業支援機関が取り組むがんばるものづくり企業助成事業の助成事業者等へのハンズオン支援に必要な経費の助成を行う。

② 技術力ハンズオン支援事業

活力創出助成事業等担当のコーディネーターを配置し、新規案件の支援や助成企業のフォローアップなどを行う。

(5) 農商工連携助成事業

農林漁業者と中小企業者等が有機的に連携し、新たな商品・サービスの開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：3分の2以内、限度額：5,000千円】

○平成25年度採択事業 9件（応募11件）

【予算額：38,859千円】【決算額：31,334千円】

申請者		事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
中小企業者	農林漁業者			
のうみん(株)	森 茂喜	松山産の柑橘（ライム、伊予柑）などを活用した加工品の開発	4,178	2,170
近藤酒造(株) たるみ製菓	新居浜市農業協同組合	新居浜産の農産物（米、野菜、果実）などを活用した甘酒とスイーツの開発	4,953	3,499
(有)中村かまぼこ	赤松真珠	宇和島産のアコヤ貝と漁骨を活用した魚醤等の開発	4,505	3,704
(株)米田水産 D o 阿呆(株)	川口水産	宇和島産の上質なブリを活用した加工品の開発	4,266	3,713
アイシス(株)	越智今治農業協同組合	今治産の農産物と野菜パウダーを活用した和洋菓子の研究開発	4,670	3,760
えいら(株)	あかまつ農園	愛媛県特別栽培農産物認定「レッドパール」「あまおとめ」を使用したデザートラスク開発・オードブルラスクの開発及び販売開拓	4,570	4,354
(有)かんこめ	寺尾果樹園	四国中央市の柑橘を利用した高機能加工品などの開発	4,693	4,380
企業組合こもねつと	うわうみ漁業協同組合	宇和島産の未利用小魚等を活用した加工品開発	3,986	3,087

秀長水産㈱	渡辺 駒男	宇和島産の活魚を利用した加工食品の開発	4,872	2,667
計 9 件			40,693	31,334

(6) 農商工連携支援事業

農林漁業者と中小企業者等との連携体を支援する取組みにかかる必要経費を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：3,000千円】

○平成25年度採択事業 2件（応募2件）

【予算額：9,000千円】【決算額：4,149千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
愛媛県農業協同組合中央会	商品開発や販路開拓に資するセミナー（2回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	1,564	1,425
松山商工会議所	販売戦略、販路開拓に資するセミナー（3回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	2,996	2,724
計 2 件		4,560	4,149

(7) 管理事業

地域密着型ビジネス創出助成事業、地域密着型ビジネス創出支援事業、活力創出助成事業、活力創出支援事業、農商工連携助成事業及び農商工連携支援事業を円滑かつ適正に実施するために必要な交付事務及び運用事務等の業務を行った。

1. 6 地域需要創造型等起業・創業促進事業（24年度国補正予算/国委託事業）

県内の地域ニーズを的確に把握した独創的なサービスや商品等を新たに提供する事業を実施する女性や若者等の起業・創業の支援、また、既存の中小企業者の後継者が先代から事業を引き継ぎ業態転換や新事業・新分野に進出する第二創業の支援、さらに、海外市場の獲得を念頭とした事業を興す起業・創業の支援を実施した。

① 地域需要創造型起業・創業

地域需要創造型起業・創業促進事業の取組に必要な経費を助成した。

【助成率：3分の2以内、限度額：2,000千円】

○平成25年度採択事業 56件（公募6回、応募87件）

【予算額：160,000千円】【決算額：5,088千円】

② 第二創業

第二創業の取組に必要な経費を助成した。

【助成率：3分の2以内、限度額：5,000千円】

○平成25年度採択事業 2件（公募6回、応募3件）

【予算額：15,000千円】【決算額：0千円】

③ 海外需要獲得型起業・創業

海外需要獲得型起業・創業の取組に必要な経費を助成した。

【助成率：3分の2以内、限度額：7,000千円】

○平成25年度採択事業 2件（公募6回、応募3件）

【予算額：14,000千円】【決算額：0千円】

1. 7 地域産業活性化企業誘致活動事業（市町負担事業）

【予算額：3,566千円】【決算額：3,063千円】

○事業実施主体 愛媛県地域産業活性化協議会

愛媛県及び関係市町において、企業立地促進法に基づき平成25年4月に策定、国の同意を受けた県内5地域の「基本計画」の実現を図るため、本県の産業基盤や特性を活かした企業立地及び産業集積を促進し、地域経済の活性化や雇用の増大に資するため、各種の企業誘致活動を実施した。

①企業動向リサーチ事業

大手信用調査会社を活用し、工場の新設等を検討している関西圏域の企業情報を収集・分析するとともに、当該情報等を活用してえひめ産業立地フェアへの集客（金融機関の集客の補完）を行った。

委託先 (株)帝国データバンク 松山支店

業務期間 平成25年5月31日～9月30日

業務内容

- ・設備投資等に関心のある企業の抽出 2,000件
- ・アンケート調査の実施 205件回収/2,000件発送（回収率10.25%）
- ・えひめ産業立地フェアへの集客業務 参加申込者数 37社49人

②「えひめ産業立地フェア2013in Osaka」への参加事業

県、伊予銀行、愛媛銀行が大阪市で開催した企業誘致イベント「えひめ産業立地フェア2013 in Osaka」に参加し、本県の立地環境や県内企業の優れた技術等のPRを行うとともに、各会員市町が展示ブースを設置し、それぞれの立地環境や地域の魅力をPRし、基本計画の実現に向けた企業誘致活動を実施した。

開催日 平成25年8月29日（大阪新阪急ホテル）

参加者数 177社（239名）

③市町との連携による工業用地等確保事業

企業が求める工業用地等の確保に関する検討会を開催したほか、工業用地等の調査を実施した。

ア. オーダーメイド型工業用地確保に関する検討会

研修会の開催

日 時 平成 25 年 10 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00

講 師 大成建設(株)、大成富士山南陵開発(株)

出席者 市町及び県企業誘致担当職員 (市町 14 名、県 4 名)

内 容

- ・富士山南陵工業団地の開発手法等について
- ・医薬品工場の立地条件等について

検討会の開催

日 程 平成 25 年 11 月 27 日 (水) ~ 28 日 (木) 終日

対象者 (株)サラヴィオ化粧品〔本社：大分県別府市〕(化粧品製造業)

内 容 今治市、宇和島市、鬼北町及び松野町内の用地案内並びに地域資源(ユズ、真珠パウダー)の紹介・活用検討

イ. 企業ニーズを踏まえた工業用地等確保事業

調査地

宇和島市内、鬼北町内

調査内容

民間コンサルタント会社に委託し、既存資料及び現地調査を通して、地形、地質、地盤等の状況を考察し、地下水の利用可能性等を調査した。

1. 8 下請企業振興事業 (県補助事業)

【予算額：17,768 千円】【決算額：17,002 千円】

県内下請中小企業の新規取引先の開拓及び受注の安定確保を図るため、広域取引情報の提供、商談会の開催など、取引あっせんを推進するとともに、取引の適正化のための各種事業を実施した。

(1) 受発注情報等収集提供事業

発注情報等を下請中小企業に提供するほか、県内下請中小企業が保有する設備内容を掲載した受注登録企業名簿を紹介し、広く県外の有力発注企業を訪問し県内下請中小企業の受注促進を支援した。

発注開拓調査

調査企業数	調査対象	内 容
707社	鉄工・電気関連	今後の生産計画や新規発注計画について
100社	縫製関連	今後の生産計画や新規発注計画について

発注開拓訪問企業

実施年月日	訪問企業
25. 11. 6～ 7	(株)モリタ環境テック、(株)ThyssenKrupp Otto( ティッセンクルupp オットー)、J F F メカニカル(株)
25. 11. 27～28	(株)笹野マックス、(株)三機商事、三友工業(株)
25. 12. 4	オートマックス(株)
26. 1. 23～24	丸忠(株)、栗山縫製(株)
26. 2. 4～ 5	池田金属工業(株)、(株)タクマ

(2) 広域商談会開催事業

県内外発注企業の具体的な発注ニーズを把握し、発注企業と県内下請中小企業との間で、個別の面談を行う「四国4県による四国ビジネスマッチング2013」、「近畿・中国・四国9府県によるモノづくり受発注広域商談会」及び「近畿・四国10府県による合同緊急広域商談会」を開催し、県内下請中小企業の新規取引先の開拓を支援した。

広域商談会開催事業

ニーズ調査

調査企業数	調査対象	内 容
7,732 (四国ビジネスマッチング)	鉄工 電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について
7,107 (モノづくり商談会)	鉄工 電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について
7,476 (緊急広域商談会)	鉄工 電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について

商談会

開催年月日	開催場所	発注企業数 (全体)	受注企業数 (愛媛県)	商談件数 (愛媛県)
25. 9. 27	大阪市 (モノづくり商談会)	50社	10社	24件
25. 11. 14	徳島市 (四国ビジネスマッチング)	46社	34社	155件
26. 2. 20～21	京都市 (緊急広域商談会)	130社	10社	52件

業種別あっせん成立件数及び契約当初受注金額

業 種	成立件数	契約当初受注金額
鉄工・電気	17件	41,973千円
縫 製	0件	0円
計	17件	41,973千円

1. 9 首都圏県産品展示販売・商談会事業（全国商工会連合会補助事業）

【予算額：11,293千円】【決算額：9,044千円】

大消費地である首都圏での展示即売会と有名飲食店とのレシピ開発&商談会を通じて、自社県産特産品の特性や生産現状に即した「ブランド化」、「競争力向上」を図るために必要な知識を本事業参加事業者が習得することで、事業者自ら販路の開拓、商品PRの確立もしく

は、その観点で事業展開が出来るきっかけ作りを支援し、継続的な実際の特産品販売の売上向上を図るため、次の事業を行った。

①東京都有楽町にある交通会館での「有楽町・交通会館マルシェ」の開催業務の実施

日 時 平成26年2月9日(日)(2月8日(土)は大雪のため中止)

場 所 東京都千代田区有楽町二丁目10-1 東京交通会館

出展事業者 29社 (売上額 520,320円)

②マッチング商談会「シェフプロモーション」の実施

日 時 平成26年2月10日(月)

場 所 東京都千代田区丸の内二丁目4-1 マンゴツリー東京

出展事業者 17社、バイヤー 14社

商談件数 32件、うち成約2件

< B : 産業技術高度化支援事業 >

1. 10 起業化シーズ育成支援事業 (技術振興事業基金事業)

【予算額 : 10,427 千円】【決算額 : 9,174 千円】

大学等高等教育機関及び公設試験研究機関の技術シーズを発掘し、県内企業の新事業展開に資するため、大学等高等教育機関及び公設試験研究機関の研究者が実施する独創的な研究開発に対し、経費の一部を助成(大学等高等教育機関については補助、公設試験研究機関については委託)した。平成25年度の実施テーマは以下の8件である。

※ 助成率 : 10 分の 10 以内

※ 助成金上限額 : 150 万円 (大学等高等教育機関)、100 万円 (公設試験研究機関)

機 関	提案者	テーマ名
松山大学 薬学部	助教 奥山 聡	柑橘由来成分の抗うつ作用発現機構の解明と行動薬理学的解析
愛媛大学大学院 理工学研究科	准教授 尾崎 良太郎	パルスパワー技術を利用した CFRP の無損傷せん断加工法の開発
愛媛大学 農学部	助教 上加 裕子	太陽光利用型植物工場の予防防除のためのオゾン水散布システムのモデル開発
愛媛大学大学院 理工学研究科	助教 全 邦釘	コンクリート表面ひび割れ自動検出システムの開発と FPGA 回路による高速化
愛媛大学 農学部	教授 菅原 卓也	石鎚黒茶の抗アレルギー効果を活用した機能性食品の開発
愛媛県農林水産研究所 水産研究センター	研究員 森 拓也	低水温で安価かつ安定的に大量培養できる珪藻餌料の開発
愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	主任研究員 西田 典由	文化財の有機酸劣化を抑制する紙製展示収蔵資材の開発
愛媛県農林水産研究所 水産研究センター	主任研究員 中島 兼太郎	中層飼育によるメバル養殖の革新

1. 11 ライフサポート産業支援事業（地域産業活性化基金事業）

【予算額：7,912千円】【決算額：2,348千円】

人々の生活に役立つ製品の製造・販売に積極的な企業等が連携するためのネットワーク形成を図るとともに、生活支援用具等の開発促進に向けて研究部会を開催した。

(1) ネットワーク形成事業

四国テクノブリッジ計画で位置付けられた「ライフサポート産業ネットワーク形成事業」を引き続き実施し、企業間のマッチングや各種事業関係者との連携により、新事業化・新商品化への取り組みを支援した。

(2) 研究部会支援事業

① いぶし銀空間創造研究部会

いぶし瓦の技術を用いた、癒しをもたらす「いぶし銀の室内空間」の創造を目的に、専門家（建築施工業者等）のアドバイスを受けながら、タイル、家具及び苔と瓦のコラボ商品等を開発し、「中四国若手建築士交流会及び技術講演会」出展等により販路開拓に努めた。

(研究部会開催回数：7回)

メンバー	小泉製瓦(有) 代表取締役 苔アーティスト苔久 代表 愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター センター長 主任研究員		小泉 信三 佐藤 久志 山本 裕三 菅 雅彦
研究部会	開催日	場 所	
第1回	平成25年5月10日	テクノプラザ愛媛	
第2回	平成25年6月14日	テクノプラザ愛媛	
第3回	平成25年8月5日	ギャラリーこけむしろ（西予市）	
第4回	平成25年9月13日	瓦のふるさと公園（今治市）	
第5回	平成25年12月12日	瓦のふるさと公園（今治市）	
第6回	平成26年1月29日	瓦のふるさと公園（今治市）	
第7回	平成26年2月24日	テクノプラザ愛媛	

② 愛媛の宝の育て方！磨き方！届け方！研究部会

県内ものづくり従事者（木工、化粧品等）の連携・協働による地域資源（木材、農産物等）を活用した新商品開発を目的に、平成25年度は、新たに設定したコンセプトに基づく商品（木工雑貨、エプロン、化粧水等）を開発し、「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2014」出展等により販路開拓に努めた。（研究部会開催回数：4回）

※ 平成27年度までの継続事業

メンバー	(株)大五木材 代表取締役 無茶々園 企画営業 Sa-Rah 愛媛県産業技術研究所 主任研究員 嘱託研究員		高橋 照国 高瀬 英明 帽子 千秋 藤田 雅彦 佐野 勝久
------	---	--	---

研究部会	開催日	場 所
第1回	平成25年11月6日	Sa-Rah（大洲市）
第2回	平成25年12月2日	無茶々園（西予市）
第3回	平成25年12月20日	(株)大五木材（松山市）
第4回	平成26年1月16日	(株)大五木材（松山市）

③ 新しいデザインの金封開発研究部会

需要が低迷している金封に関し、新たなコンセプトに基づく新商品開発を行うため、平成25年度は、既存商品の分析、コンセプト設定及び出展する展示会の検討を行った。（研究部会開催回数：3回）

※ 平成27年度までの継続事業

メンバー	(有)ヤマニシ 代表取締役	森田 俊孝	
	マルマツ紙業(株) 代表取締役	細川 和宏	
	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	主任研究員	高橋 雅樹
		主任研究員	小平 琢磨
嘱託研究員		大山 美和	
研究部会	開催日	場 所	
第1回	平成25年12月18日	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	
第2回	平成26年1月31日	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	
第3回	平成26年2月27日	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	

1. 12 中小企業製品開発プロジェクト支援事業（地域産業活性化基金事業）

【予算額：2,530千円】【決算額：717千円】

① 医療機器製造研究会

経済産業省の課題解決型医療機器等開発事業（平成23～25年度）の研究開発及び事業化を促進するため、(株)アドメテック及び田中技研(株)に対し、専門家から助言を得るための研究会の開催等により、医療機器製造業の許可を得るための支援を行った。

研究会の概要	メンバー	(株)アドメテック、田中技研(株)
	専門家	GE 横河メディカルシステム(株) 元部長 三田村 正義 トモメディックス(株) 代表取締役 石橋 喜治
	開催日	平成25年9月27日
	場 所	田中技研(株)（西条市）

② 超微細繊維複合技術研究会

経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（平成22～23年度）のフォローアップ事業として、シンワ(株)に対し、超微細繊維複合技術に係る特許申請等についてアドバイスをした。

研究会の概要	メンバー	シンワ(株)、愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター
	開催日	平成26年3月4日
	場 所	シンワ(株)（四国中央市）

1. 13 マイクロリファイン普及啓発促進事業費（地域産業活性化基金事業）

【予算額：1,725千円】【決算額：1,405千円】

セルロースナノファイバー（CNF）の技術開発の進展とビジネス創出に向けて、県内のバイオマス資源を原料とする CNF を試験的に製造して評価・分析を行い、技術開発の課題抽出や製品化の可能性検討を行うため、平成 24 年度に設置した「えひめ CNF 研究会」が中心となり、研究会メンバーのほか、京都大学生存圏研究所等の専門家 3 名を招き、愛媛大学、産技研、関連企業等のオブザーバー参加のもと研究会を 2 回開催し、CNF に関する最新動向や県内企業の取組状況を共有し、今後の製品化に向けた意見交換等を行った。

また、愛媛大学に委託し、コットンボールを原料とする CNF の試作、物性試験を実施した。

さらに、今後の CNF の利活用促進や製品化に向けたマッチングのため、関連企業を訪問して意見交換を行った。

構成員	丸三産業(株)【座長】、カミ商事(株) 愛媛県産業技術研究所、食品産業技術センター、繊維産業技術センター (公財)えひめ産業振興財団		
研究会	第 1 回	開催日	H25.5.27
		場 所	テクノプラザ愛媛
		オブザーバー	愛媛県産業技術研究所長 愛媛大学農学部上級研究員 ほか 11 名
	第 2 回	開催日	H26.3.12
		場 所	テクノプラザ愛媛
		オブザーバー	愛媛大学農学部上級研究員 愛媛県発明協会事務局長 ほか 5 名
成果等	愛媛大学に委託してコットンボールを原料とする CNF の製造及び物性試験を実施し、コットンボールから製造した CNF の特徴の分析を行い、物性に応じた分野での製品化の可能性について、今後検討を進めることとなった。		

1. 14 戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ事業（県委託事業）

【予算額：696千円】【決算額：436千円】

技術開発プロジェクト・プロデューサー等が発掘したプロジェクトの育成を目的に、専門家から助言を受けるための「戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ委員会」を開催し、国等が公募する競争的研究開発資金の獲得を支援した。（委員会開催回数：3回）

開催場所		テクノプラザ愛媛
第 1 回	開催日	平成 25 年 5 月 8 日
	提案事業名	課題解決型医療機器等開発事業
	招聘専門家	4 名
第 2 回	開催日	平成 25 年 6 月 5 日
	提案事業名	戦略的基盤技術高度化支援事業
	招聘専門家	3 名

第3回	開催日	平成26年2月28日
	提案事業名	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業
	招聘専門家	3名

1. 15 改造電気自動車普及促進事業（県委託事業）

【予算額：2,719千円】【決算額：1,903千円】

県内におけるEV関連産業の創出等を図るため、「愛媛県EV推進協会」の事務局として、県のEV開発プロジェクトと連携し、協会会員の支援を行った。愛媛県EV推進協会の概要は以下のとおりである。

設立	平成22年10月22日
会長	愛媛県産業技術研究所 EV開発センター長
会員数	138企業・団体・個人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールによる定期的な会員への情報発信</li> <li>・ホームページの運営、管理</li> <li>・会員からの問い合わせへの対応</li> </ul>
事業期間	平成25年4月～平成26年3月

1. 16 課題解決型医療機器等開発事業（国委託事業）

【予算額：66,037千円】【決算額：41,057千円】

医療現場からのニーズが高い研究課題に対し、地域の特色あるものづくり技術を有する中小企業等と、医療機関や研究機関とが連携した「医工連携」による医療機器の開発・改良を目的として、新規腫瘍焼灼治療機器を試作するとともに、検証的治験に必要となる調査を行った。

期間	平成23～25年度（3年間）		
研究実施機関	(株)アドメテック、田中技研(株)、小松パワートロン(株)、愛媛大学、金沢大学(H24～25年度はアドバイザー)		
研究開発推進委員会	第1回	開催日	平成25年7月11日
		場所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	平成26年1月22日
		場所	テクノプラザ愛媛
成果等	探索的治験の結果から、医療現場からの要望点等を洗い出し、リスクマネジメントを踏まえながら検証的治験に向けた医療機器の開発・改良を行い、新たに2機を試作した。また、PMDA 対面助言での指摘事項への対応として、後方視的研究による治療方法の優位性、治験プロトコルの見直しを行った。		

1. 17 戦略的基盤技術高度化支援事業（国委託事業）

【予算額：68,000千円】【決算額：64,768千円】

国内製造業の国際競争力の強化と新たな事業を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削、めっき等）に資する、革新的でかつハイリスクな研究開発等を促進するため、経済産業省から委託を受け、当財団が事業管理機関として次の2事業を実施した。

(1) 低コストと超軽量化を同時に実現するCFRP(炭素繊維強化プラスチック)製バス部品の開発

期 間	平成 25～27 年度（3 年間）		
研究実施機関	ヤマセイ(株)、ビューテック(株)、(株)尼崎工作所、愛媛大学、愛媛県産業技術研究所		
研究開発推進委員会	第 1 回	開催日	平成 25 年 11 月 1 日
		場 所	ビューテック(株)
	第 2 回	開催日	平成 26 年 1 月 28 日
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	CFRP 製バス部品の開発のため、素材の強度試験、耐熱性試験、耐候試験による最適 CFRP 素材の選定と、構造に関する調査を行った。		

(2) 玉葱皮剥き機の画像処理を用いた 3 次元認識モジュール開発

期 間	平成 25～26 年度（2 年間）		
研究実施機関	システムエルエスアイ(株)、土佐電子工業(株)、愛媛大学		
研究開発推進委員会	第 1 回	開催日	平成 25 年 11 月 22 日
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第 2 回	開催日	平成 25 年 2 月 25 日
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	玉葱皮剥き機のモジュールとして、玉葱を自動で並べるホッパー部と、玉葱を回転させて画像処理し、方向をそろえる 3D ボックス部を開発した。		

1. 18 地域イノベーション戦略支援事業（国補助事業）

【予算額：21,595 千円】【決算額：20,674 千円】

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムにおいて、「持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築」をテーマに採択を受け（平成 24～28 年度）、水産業の活性化を核として地域イノベーションを推進するため、世界トップレベルの大学の海洋生命科学研究を活用し、産学官に合わせて、金融機関が一体となった自律したクラスターを形成する。そのため、中核となる研究者を集積し、大学等の知のネットワークを構築し研究基盤をより強固なものとするとともに、地域イノベーションを担う人材を育成する。

○推進体制の構築

① えひめ水産イノベーション創出推進協議会の設置

産学官金による協議会を設置し、地域イノベーション戦略の策定や地域イノベーション戦略の実現に向けた各参画機関の取り組み状況及び成果等の確認、今後の取組の方向性を決定した。

(産) 愛媛県漁業協同組合連合会、(社)愛媛経済同友会、(株)テクノネットワーク四国

(学) 愛媛大学

(官) 愛媛県、宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町

(金) ㈱伊予銀行、㈱愛媛銀行、愛媛信用金庫、宇和島信用金庫、  
愛媛県信用漁業協同組合連合会

(総合調整機関) (公財) えひめ産業振興財団

② プロジェクトディレクタと地域連携コーディネータの配置

事業全体を統括する「プロジェクトディレクタ（1名）」と地域密着型の「地域コーディネータ（2名）」を配置し、地域のシーズ・ニーズの情報収集とマッチングを行い、大学等の技術シーズを研究から事業化まで一貫した「大学等の知のネットワーク構築」に努めた。

○協議会・委員会の運営

産学官金の連携を図り、効果的な事業運営を行うため、次の協議会等を運営した。

えひめ水産イノベーション 2013 公開セミナー		
	開催日（場所）	平成 25 年 11 月 8 日（サブライムホール）
	内 容	地域イノベーション戦略支援プログラムを広く周知し、円滑な事業の実施を推進するため、近畿大学名誉教授の熊井英水氏を講師に迎えて、「漁業資源存亡の機と養殖業～クロマグロの完全養殖を中心として～」と題し、講演を行った。

研究成果報告会		
	開催日（場所）	平成 26 年 2 月 18 日（サブライムホール）
	内 容	本年度の研究成果を関係者に広く周知するため、愛媛大学南予水産研究センターの研究者 5 名が、平成 25 年度に実施した研究の成果を説明した。

外部評価委員会		
	開催日（場所）	平成 26 年 3 月 4 日（松山全日空ホテル）
	内 容	これまでの成果と今後の取組の方向性等について、客観的な評価を受けるため、学識経験者等から評価・助言を得た。

えひめ水産イノベーション創出推進協議会		
	開催日（場所）	平成 26 年 3 月 25 日（テクノプラザ愛媛）
	内 容	えひめ水産イノベーション戦略の実現に向けて、各参画機関の取組状況、成果等の確認及び今後の取組の方向性について協議した。

1. 19 炭素繊維加工高度人材養成事業（国補助事業）

【予算額：4,912 千円】【決算額：1,106 千円】

炭素繊維を活用して新技術・新製品が開発できる高度な知識・技能を持った人材を養成するため、主に企業の製品開発担当技術者を対象に、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の製品設計や加工・評価技術に関する講義と実習を行った。

CFRP製品企画研修		
開催日（場所）	平成25年11月27日（愛媛県産業技術研究所）	
内 容	1 講義「CFRPの特性と設計」 講師：(株)エーシーエム 取締役 石川 源 2 講義「CFRPとCFRTPの設計と成形法」 講師：(有)CAST 代表取締役 富田隆広	
参加者	37名（19機関）	

熱可塑性CFRP製品企画実習		
開催日（場所）	平成25年12月12日～13日（石川県工業試験場）	
内 容	1 実習「熱可塑性CFRPのプレス成形」 講師：石川県工業試験場 職員 2 実習「熱可塑性CFRPの物性評価」 講師：石川県工業試験場 職員	
参加者	7名（5機関）	

熱硬化性CFRP製品企画実習		
開催日（場所）	平成26年3月10～11日（松山市）	
内 容	1 実習「熱硬化性CFRP製品試作」 講師：東レ(株)複合材料研究所 西山 等 2 講義「CFRP製品の設計・成形・加工について」 講師：愛媛大学 教授 黄木景二 3 実習「熱硬化性CFRP成形品の評価」 講師：東レ(株)複合材料研究所 西山 等	
参加者	15名（13機関）	

< C : 情報化促進支援事業 >

1. 20 中小企業支援センター情報ネットワークシステム管理運営事業（県委託事業）

【予算額：8,839千円】【決算額：8,446千円】

インターネットを通じて中小企業支援機関や商工団体等と連携を図るとともに、各種産業情報や企業情報等を収集・発信することにより、県内中小企業の情報化を支援するため、愛媛県からの委託を受け、中小企業支援センター情報ネットワークの管理・運営を行った。

○名 称 愛媛県中小企業支援センター情報ネットワーク（ehime-iinet）

○発信する情報

- ・ 愛媛のプロフィール
- ・ 産業情報 企業情報、物産情報、伝統産業情報、商店街情報、図書・ビデオ情報
- ・ 提供情報 中小企業支援情報、その他財団事業情報

1. 21 高度IT人材創出・育成事業（県補助事業）

【予算額：6,428千円】【決算額：4,011千円】

①高度 I T 人材研修

高度化する情報関連産業のニーズを踏まえ、実践的かつ即戦力として活躍できる人材を育成するため、愛媛県の補助を受け、I T 技術者の実務・技術両面のスキルアップにつながる高度 I T 人材創出・育成研修を 10 講座実施した。

場所：テクノプラザ愛媛、産業情報センター

講座名	研修内容	実施日 (日数)	受講者数 (修了者数)	受講料
「クラウドコンピューティング」とは何か	クラウド環境を利用するサービスを実際に利用することによって、「クラウドコンピューティングとは何か」について解説・演習等を実施した。	H25. 8. 6 (1 日間)	4 名 (4 名)	21,000 円
I T 技術者のための問題発見・解決能力	システムトラブルをいろいろな視点から考察し、原因の本質を深く究明、把握することにより、未然にその種を発見するための行動、視点及びその方法を考えるとともに、開発工程における問題発見の意識の持ち方について解説・演習等を実施した。	H25. 9. 2 ～ 9. 3 (2 日間)	9 名 (9 名)	21,000 円
「クラウドコンピューティング」とは何か	クラウド環境を利用するサービスを実際に利用することによって、「クラウドコンピューティングとは何か」について解説・演習等を実施した。	H25. 9. 25 (1 日間)	7 名 (7 名)	19,000 円
A n d r o i d プログラミング	A n d r o i d の最新情報とビジネスへの適用可能性を紹介するとともに、実際にパソコンを使って A n d r o i d アプリケーションの開発(スマートフォン対応のプログラム作成)の実習や講義等を実施した。	H25. 9. 26 (1 日間)	12 名 (12 名)	17,000 円
交流型によるリーダー人材育成	他社からの参加者との交流の中で、自社にない価値観、思考・行動特性、取り組みを気づきとして獲得し、また、自社の強みを再認識する。今後の交流の促進を図る。	H25. 10. 4 (1 日間)	8 名 (8 名)	21,000 円
ネットワークシステム基礎	ネットワークシステムの構成と構成技術を身に付けるため、O S I 基本参照モデルやプロトコルの必要性と動向、ネットワークの種類と動向など、ネットワークの全体像について解説した。	H25. 10. 24 ～10. 25 (2 日間)	9 名 (9 名)	19,000 円
J a v a による W e b アプリケーション構築(基礎編)	J a v a による簡単な W e b アプリケーション(サブレットと J S P)の構築や J 2 E E 1. 4 から標準となったタグライブラリ(J S T L)の使用法について解説・演習等を実施した。	H25. 11. 20 ～11. 21 (2 日間)	15 名 (15 名)	9,000 円

ネットワーク 運用管理実践	ネットワークの運用に係る管理・監視の手法について、概念と技術を体系的に学習するとともに、現場で活用されているネットワーク管理システムを用いた実習を通し、現場における管理の実際を解説した。	H25. 12. 19 ～12. 20 (2日間)	8名 (8名)	16,000 円
ネットワーク セキュリティ	ネットワークにおけるセキュリティの問題を認識し、セキュリティ対策の基礎知識を学習するとともに、ネットワークにおける具体的なセキュリティ対策の方法について講義・演習を実施した。	H25. 1. 15 ～ 1. 16 (2日間)	6名 (6名)	17,000 円
A n d r o i d プログラミング	A n d r o i dの最新情報とビジネスへの適用可能性を紹介するとともに、実際にパソコンを使ってA n d r o i dアプリケーションの開発(スマートフォン対応のプログラム作成)の実習や講義等を実施した。	H26. 1. 21 (1日間)	4名 (4名)	17,000 円

## ②地域連携型若年者IT人材研修

就職活動前の若年者IT人事向けに現役SEとの意見交換・実習を行い、IT業界ならびにIT企業についてより深く知ってもらい、受講者の意識改革を促すため、県内IT企業・団体と連携し3回実施した。

### ○第1回

開催日 平成25年8月27日 1日間

協賛企業 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

内 容 レクチャー① 実際の開発現場では！？

携帯電話の開発ってこんなふうにするんだ！

レクチャー② 今後注目している分野とは？！

スマホとカーシステムの融合！

プログラミング実習

MDM（モバイル機器管理）を用いたシステム開発の紹介

参加者 大学生3人、専門学校生15人、計18人

### ○第2回

開催日 平成25年9月19日 1日間

協賛団体 愛媛県情報産業サービス協議会

内 容 プログラムの設計体験、プログラムの作成と発表

実際にSEとして活躍している先輩に話を聞く

参加者 大学生1人、専門学校16人、計17人

### ○第3回

開催日 平成 25 年 11 月 2、12、19 日、12 月 3 日 4 日間

共催団体 愛媛県 I T 推進協会

内 容 技術者を目指す学生と若手 S E のための『伝える力』講座

仕様書・取扱説明書・レポートなど各種資料作成に必要な読解・記述のスキル向上現役 S E や若手社員との交流を通して、I T 企業で役立つスキル、コンピテンシーを知る

参加者 大学生 6 人、社会人 5 人、計 11 人

### ③ I T 異業種交流研修

異業種事業者との交流によるソリューション研究

内 容 「えひめ I T ソリューション研究会」を設置、事務局運営

「農業の I T 化」をテーマとして、研究会を開催し、異業種との連携・交流によってソリューション力を高め、自社製品の開発を目指すための研究会を開催した。

参加 I T 企業 9 社、農業者 4 法人・個人、アドバイザー企業 2 社

## 1. 22 情報化基盤整備促進事業（基盤整備基金事業）

【予算額：3,531 千円】【決算額：2,977 千円】

(1) 各企業が実践的な I T 活用に関する内容を学べる e ラーニングサービスの提供

I T が企業活動のツールになるよう、各職場で実践的な内容を学べる e ラーニングを財団 A S P サイト上で提供した。(6 コンテンツ追加)

(2) 企業が I T 導入の必要性を実感し実践に移すため、実践企業の事例を学ぶセミナーの開催

県内中小企業者が情報通信機器を有効に活用し、自ら情報化を推進していけるよう、I T 利活用の支援に関するセミナー開催等の啓蒙普及活動や情報収集等を実施した。

○ I T 利活用支援セミナー

開 催 日 平成 26 年 1 月 22 日（水）13：00～17：00

テ ー マ 力の結節を武器にした儲けの I T 経営の進め

受講者数 8 名

○ I T 利活用支援セミナー

開 催 日 平成 26 年 2 月 25 日（火）13：30～16：15

テ ー マ 第 1 部 ビッグデータ利活用によるビジネス加速のポイント

第 2 部 さようなら Windows X P

受講者数 22 名

(3) 中小企業支援センターホームページの運営

中小企業支援センターホームページ（財団 H P）の運営管理を行った。

2 (収1) 収益事業

2. 1 テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センター管理運営事業（県委託事業）

愛媛県から、テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センターの指定管理者の指定を受け、両施設の管理・運営を行った。

管理・運営に当たっては、施設の設置目的並びに指定管理者業務仕様書に基づき、企業等の多様なニーズに対応するとともに、利用者への広く公平なサービスの提供と安全性の確保を図ることはもとより、施設の機能を十分活かした管理・運営を行った。

なお、平成26年度から平成30年度末まで、当財団が引き続き指定管理者となった。

テクノプラザ愛媛利用状況		
利用施設	件数	人数
テクノホール	167	17,328
一般研修室	182	5,321
OA研修室	52	970
特別会議室	88	1,445
一般会議室	350	6,856
小会議室	161	2,160
合計	1,000	34,080

愛媛県産業情報センター利用状況		
利用施設	件数	人数
会議室	101	1,424
交流型会議室	41	479
合計	142	1,903

テクノプラザ愛媛

① インキュベート施設の概要

インキュベート・ルーム：20室 [19.74㎡～71.60㎡]

飲食業に関するインキュベート・ルーム：1室 [245.38㎡]

商談室：2室、休憩室2室（男子、女子）

② 入居企業の状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

入居室番号等	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備考
レストラン	(株)エイトワン (飲食業に関するインキュベート・ルームとして、Vimiを運営)	飲食業	H25.1～H26.12	
201	Grasp Creations 戸田和義	情報通信	H23.6～H26.5	
202	(株)エンカレッジ	ビジネス支援	H20.9～H26.8	
203	(有)上田電子開発	情報通信	H24.5～H26.4	
204	WEB TOUCH 村田大吾	情報通信	H23.2～H27.1	
205	(特非) ポジティブリサイクル21	環境	H25.6～H26.5	
206	(株)プライサー	情報通信	H21.5～H26.4	H26.1 317号室から移転

301	(株)KEINS	E V 事業	H24. 6～H26. 5	
302	(株)KEINS	E V 事業	H24. 6～H26. 5	
303	カイゼン(株)	環 境	H24. 2～H27. 1	
304	ジューサンケンチクセッケイ	建 築 設 計	H25. 10～H26. 3	H26. 3 退去
305	(株)ニーズウェア	情 報 通 信	H24. 6～H26. 5	
306	(株)夢大地	新 製 造 技 術	H23. 3～H27. 2	
307	(株)アシストヒズ	経 営 コ ン サ ル	H25. 10～H26. 9	Hプロジェクト(株) 25. 7退去
308	西日本電信電話(株)愛媛支店	ビ ジ ネ ス 支 援	H 3. 4～H26. 3	
309	(株)ジェイコム	医 療 ・ 福 祉	H26. 3～H27. 2	渦潮電機(株) H26. 1退去
310	(株)おひさま	医 療 ・ 福 祉	H25. 6～H26. 5	
311	(株)ビジョンマップ	情 報 通 信	H25. 8～H26. 7	
317	愛媛県中小企業団体中央会	ビ ジ ネ ス 支 援	H26. 3～H27. 2	(株)プライサー 206号室へ移転
318	愛媛県中小企業団体中央会	ビ ジ ネ ス 支 援	H25. 4～H26. 10	
319	(株)リーガル	情 報 通 信	H23. 7～H26. 6	
全21室 平成26年3月31日現在 入居企業：19社21室（入居率：88.89%年平均）				

産業情報センター

① インキュベート施設の概要

インキュベート・ルーム：9室 [17.17㎡～123.66㎡]

商談室：1室、ミーティングルーム：1室、事業支援・相談室：1室

② 入居企業の状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

入居室名	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備考
A～I	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H26. 3～H27. 2	
全9室 平成26年3月31日現在 入居企業：1社9室（入居率：100%年平均）				

(1) 情報提供業務

ホームページに県内中小企業に必要な情報を掲載するほか、国・県の施策に関するリーフレットや、各種調査の報告書等を館内に配置して、情報の提供を行った。

更に、入居者に対しては、インキュベーション・マネージャーやビジネスサポートオフィス、隣接する産業技術研究所と連携し、それぞれのニーズに応じた情報の提供に努めた。

## (2) 利用促進業務

ホームページによる情報発信、施設案内パンフレットの配布、更には経済誌への広告掲載やマスコミ等への随時情報の提供などを通じ、積極的にPRした。

また、各種団体、企業、大学及び試験研究機関等の機関誌による広報や企業訪問による宣伝活動を行うほか、財団のネットワークを最大限に活用して利用の促進を図った。

## (3) 施設の維持管理に関する業務

施設を適切に運営するために、日常的に施設の点検を行い、安全かつ安心して利用できるよう保全に努め、建築物等の不具合については、速やかに改善を図るとともに、清潔な景観保持に努めた。

## 3 (他1) その他の事業

### 3. 1 設備資金貸付事業（県借入金事業、県補助事業）

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

### 3. 2 設備貸与事業（県等借入金事業）

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

### 3. 3 機械類貸与事業(県借入金事業、県補助事業)

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

### Ⅲ 庶務概要

#### 1 役員等の状況

21名

(内訳)	評議員	8名
	理事長	1名
	専務理事	1名
	常務理事	1名
	理事	8名
	監事	2名

#### 評議員

平成26年4月8日現在

職名	氏名	役職名
評議員	石川 靖	愛媛県産業支援局長
〃	平野陽一郎	松山市産業経済部長
〃	中村 雅人	松山大学経営学部長
〃	谷口 佳文	新居浜工業高等専門学校副校長
〃	酒井 数良	愛媛経済同友会事務局長
〃	是澤 一記	愛媛県信用保証協会業務統括部長
〃	矢野 巧	愛媛県市長会事務局長
〃	渡部 明忠	愛媛県町村会事務局長

任期：平成28年開催定例評議員会終結時まで

#### 理事等

平成26年4月1日現在

職名	氏名	役職名
理事長	森田 浩治	株式会社伊予銀行会長
専務理事	村上 哲義	公益財団法人えひめ産業振興財団総務企画部長
常務理事	杉本 譲	公益財団法人えひめ産業振興財団産業振興部長
理事	中山紘治郎	株式会社愛媛銀行会長
〃	矢田部龍一	国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構長
〃	服部 正	公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会会長
〃	近藤 聖司	四国タオル工業組合理事長
〃	越智 仁司	愛媛県輸出縫製品工業協同組合理事長
〃	塩崎 桂	愛媛県商工会議所連合会事務局長
〃	高橋 章司	愛媛県商工会連合会事務局長
〃	高市 敦史	愛媛県中小企業団体中央会事務局長
監事	弓山 慎也	愛媛信用金庫理事長
〃	関谷 幸男	愛媛県信用農業協同組合連合会理事長

任期 理事：平成26年開催定例評議員会終結時まで

監事：平成28年開催定例評議員会終結時まで

## 2 理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成 25 年 5 月 30 日(木) 14:30~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1)平成 24 年度事業及び決算について (2)平成 25 年度収支予算の補正について (3)定時評議員会の招集について	原案議決
平成 25 年 8 月 26 日(月)	持ち回り	(1)平成 25 年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成 25 年 12 月 10 日(火)	持ち回り	(1)平成 25 年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成 26 年 3 月 18 日(火) 10:00~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1)平成 26 年度事業計画及び収支予算等に ついて (2)定款及び諸規程の改正について (3)資産の運用について (4)役員賠償責任保険の加入について (5)評議員会の招集について	原案議決

### 3 評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成 25 年 4 月 26 日(金)	持ち回り	(1) 評議員の選任について	原案議決
平成 25 年 5 月 15 日(水)	持ち回り	(1) 理事の選任について (2) 評議員の選任について	原案議決
平成 25 年 6 月 19 日(水) 10:00~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1) 平成 25 年度収支予算の補正について (2) 監事の選任について	原案議決
平成 25 年 7 月 1 日(月)	持ち回り	(1) 監事の選任について	原案議決
平成 25 年 9 月 3 日(火)	持ち回り	(1) 平成 25 年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成 25 年 12 月 16 日(月)	持ち回り	(1) 平成 25 年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成 26 年 3 月 27 日(木) 10:30~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1) 平成 26 年度事業計画及び収支予算等に ついて (2) 定款の一部改正について (3) 評議員の選任について	原案議決

4 職員の状況

平成 26 年 4 月 1 日現在

所 属	職 名	氏 名	備 考
総務企画部	部 長	村 上 哲 義	専務理事が兼務
○総務課	参事課長	村 上 哲 邦	出納員を兼務
〃	副 課 長	清 家 さつみ	
〃	担 当 係 長	木 下 学	
〃	主 任	武 田 和 高	
○企画情報課	課 長	神 尾 泰 昭	愛媛県から派遣
〃	副 課 長	竹 村 宏	
○中小企業支援課	課 長	二 宮 厚	
〃	主 任	穴 山 和 久	
産業振興部	部 長	杉 本 讓	常務理事が兼務。愛媛県から派遣
○新事業支援課	課 長	鎌 田 正 也	愛媛県から派遣
〃	担 当 係 長	西 川 昌 祐	
〃	専 門 員	谷 泉 忠 幸	愛媛県から派遣
〃	主任研究員	大 川 徹	愛媛銀行から出向
〃	研 究 員	菅 正 也	伊予銀行から出向
〃	〃	池 内 秀 明	愛媛銀行から出向
〃	担 当 課 長	秋 川 裕 一 郎	(愛媛県経済労働部産業政策課 連携支援係長)
〃	専 門 員	松 長 美 樹	( 〃 〃 〃 専門員)
〃	主 任	越 智 千 仁	( 〃 〃 〃 主任)
○産業振興課	課 長	菅 匡 紀	愛媛県から派遣
〃	主 任	加 地 祐 介	愛媛県から派遣
〃	研 究 員	岡 山 亮 輔	伊予銀行から出向
〃	〃	西 川 英 憲	愛媛信用金庫から出向
〃	担 当 課 長	瀬 村 正 志	(愛媛県経済労働部産業創出課 新事業支援係長)
〃	〃	長 井 英 二	( 〃 〃 〃 新分野開拓係担当係長)
〃	専 門 員	峯 下 久 美	( 〃 〃 観光物産課 専門員)
〃	主 任	山 本 卓	( 〃 〃 産業創出課 主任)
〃	〃	田 鍋 聡	( 〃 〃 〃 主任)
〃	〃	岸 本 拓 哉	( 〃 〃 〃 主任)
〃	〃	浦 元 明	( 〃 〃 〃 主任)
〃	〃	佐 藤 美 奈	( 〃 〃 労政雇用課 主任)
〃	〃	伊 賀 丈 洋	( 〃 〃 経営支援課 主任)
〃	主 事	菊 地 瑛 里 子	( 〃 〃 産業政策課 主事)
○産学官連携推進課	課 長	玉 井 浩 二	(愛媛県産業技術研究所企画管理部 担当係長)
〃	担 当 課 長	菊 地 敏 夫	(愛媛県経済労働部産業創出課 産学官連携係長)
〃	主 任	明 賀 久 弥	(愛媛県産業技術研究所企画管理部 主任)
〃	技 師	中 村 仁	( 〃 〃 〃 技師)

事業報告の附属明細書

1 許認可等について補足すべき重要な事項

許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備 考
平成 12 年 5 月 11 日	愛媛県中小企業支援センター（指定）	平成 12 年 5 月 11 日	中小企業支援法第 7 条第 1 項の規定による
平成 17 年 6 月 23 日	中核的支援機関（認定）	平成 17 年 7 月 8 日	中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律第 26 条第 1 項の規定による
平成 20 年 9 月 26 日	指定管理者（テクノプラザ愛媛）（平成 21 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）	平成 20 年 12 月 12 日	愛媛県公の施設設置及び管理に関する条例第 11 条第 3 項の規定による
平成 20 年 9 月 26 日	指定管理者（愛媛県産業情報センター）（平成 21 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）	平成 20 年 12 月 12 日	愛媛県公の施設設置及び管理に関する条例第 11 条第 3 項の規定による
平成 25 年 1 月 31 日	経営革新等支援業務を行う者（認定）	平成 25 年 3 月 21 日	中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律第 17 条第 1 項の規定による
平成 25 年 9 月 20 日	指定管理者（テクノプラザ愛媛（旧愛媛県産業情報センターを含む））（平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）	平成 25 年 12 月 13 日	愛媛県公の施設設置及び管理に関する条例第 11 条第 3 項の規定による